



こんにちは、校長の内田です。

いよいよ夏休みです。ここまで長かったような短かったような。

夏休みは7月26日(土)～8月24日(日)です。8月25日(月)から授業が開始されるので間違わないようにしてください。

他校より短めですが、本校には秋休みがあります。

県立学校は長期休業の上限が決まっているので、向陽館だけが短いなんてことはありませんから安心してください(笑)。

夏休み中は、学校閉庁日(8月15日(金)・18日(月))以外は学校に職員がいますので、何かあった時は、学校に連絡をしてください。(8:30～17:00)

充実した夏休みになるように祈っています。

夏休み明けに元気な姿で会えることを楽しみにしています。

考える授業 授業観察

前期の授業観察をしていた時の話。

その授業は1年生の「英語コミュニケーションⅠ」でした。

今の学習指導要領では「英語コミュニケーションⅠ」や「論理・表現Ⅰ」が1年生の科目ですかね。ひとつ前の学習指導要領では「コミュニケーション英語Ⅰ」や「英語表現Ⅰ」だったのですが、微妙に違います。

自分の高校時代は「Leader(読本)」、「Glamer(文法)」、「Composition(英作文)」をやったような記憶があります。その頃のカリキュラムはどうだったんでしょう？

高校生の私はただ単に与えられたものをしていただけなので。ちょっと気になります(笑)。

それにしても、今の教科書はカラーだし、写真もいっぱいあるし、題材もいろいろだし。

生徒が興味・関心を持ちやすいように工夫されてる感があります。

うちが今使っている教科書では

- Lesson1 Kerama Blue 沖縄の慶良間の海とサンゴの役割
- Lesson2 Cool Japan 海外から見た日本の魅力
- Lesson3 Mexican Dishes 世界無形文化遺産—メキシコ料理
- Lesson4 The Olympics オリンピックの意義や、過去の面白い競技
- Lesson5 Baobabs in Madagascar 「バオバブ」ってどんな木？
- Lesson6 Toothbrushing in Edo 江戸時代の歯ブラシって？
- Lesson7 Machu Picchu 世界遺産「マチュ・ピチュ」の魅力と不思議
- Lesson8 Motala and Landmines 地雷で足を失った象
- Lesson9 Dick Bruna ミッフィーでおなじみ、ディック・ブルーナさんの社会的役割



Lesson10 Tsujii the Great Pianist ピアニスト、辻井伸行さんの活躍

Lesson11 Ideas From Nature 自然からヒントを得て、暮らしが便利に…

Lesson12 Steve Jobs スティーブ・ジョブズのことばと人生

こんな教科書だったら、もう少し英語ができたかも！？（それはないか…）ある意味、今の生徒たちがうらやましいですね。

その時やっていたのは Lesson9 のディック・ブルーナのお話。ミッフィーの生みの親ですね。

ところで、ミッフィーの本名を知ってます？ミッフィーが本名ではないですよ。

本名は「ナインチェ」オランダ語で「小さなうさぎちゃん」という意味です。日本名は「うさこちゃん」。

あっ、話がずれました。

授業に入る前にやっていたのが、「どんなストーリーかな？想像して書いてみよう！」というプリント。日本語の「うさこちゃんときやらめる」という本を使って、前半のストーリーから、絵を見ながら自分で後半のストーリーを考えようってことです。

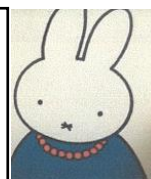
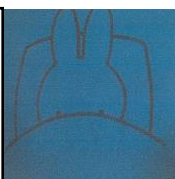
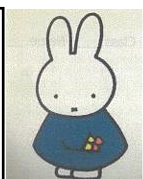


うさこちゃんのおおかあさんが、おみせにくっきーをかいにいくので、うさこちゃんにいっしょにくる？と聞きます。もちろんうさこちゃんはおかいものはたのしいので、いっしょにでかけます。おみせにつき、おかあさんがくっきーをかっているあいだにうさこちゃんはおちらこちらみえています。すみっこのほうにきやらめるがおいてあるのにきづき、なんておいしそう！ほしいなあとうさこちゃんはおもいました。

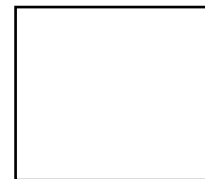
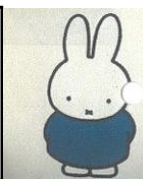


ここまでが前半の話です。ここからが、生徒のみなさんが考えるところ。

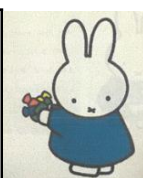
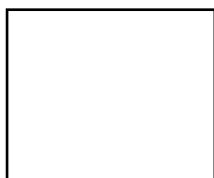
→



→



→



みなさんだったら、どう入れます？

そのクラスの生徒のみなさんは、「うさこちゃんが万引きをした」とか、「おかあさんにめちゃ怒られて、泣いた」とか、「おかあさんに連れられて、謝りにいった」とか…。

正直、私はなんでそんな発想になっちゃうのかなぁと思いました。

私の作ったストーリーは、「うさこちゃんはキャラメルがほしくてしかたなく、夜寝ていても思い出し、次の日、おかあさんに欲しいと正直に話しました。おかあさんは『わかったわ、いっしょに買いに行こうね』と言ってくれたので嬉し涙を流しました。その後、一緒ににお店にいき、うさこちゃんはおかあさんにキャラメルを買ってもらいました。」なんですけど。

私と生徒のみなさんと全然違うじゃん！

正解のプリントが配付され…

うさちゃんはとてもわるいことをしました。だれもみていないとき、きゃらめるをほけっとにいたたのです… そのばん、うさこちゃんはべっとにはいってもねむれませんでした。なぜだかわかるでしょう？だまっておみせのものをとるなんていけないことをしたからです。つぎのひ、うさちゃんのようにうさへんなのでおかあさんはうさちゃんになにかあったのかをききました。うさこちゃんはちいさなこえできのうおみせできゃらめるをとったことをいいます。おかあさんはなんてわるいことをしたの！いますぐにかえしにいきましょうといい、おみせにいきました。うさこちゃんははずかしいのでおみせに行くのがいやでした。あんなことをしなければよかったとおもいました。でもこれはじぶんのしたことです。うさこちゃんはいみせできゃらめるをぜんぶかえました。そして、こんなことはもうにどとぜったいにしませんでした。いいました。

えっ?! ええええ〜〜〜〜! ?

うさこちゃん万引きしているし〜〜。

まさかうさちゃんが万引きをするなんて考えてもみなかった！

よく見ると、うさこちゃんのぽけっとにいろとりどりのきゃらめるが入っている絵がある！

キャラメルを見逃した…。生徒のみなさんはよくここまで見てたなあ（言い訳をしますと、生徒のみなさんが持っていたプリントはカラーで、私が持っていたものは白黒でした（笑）。）

まあ、カラーをもらっても答えは同じだったような気がするけど。

うさこちゃんは悪いことをしないという思い込みですね。反省…

この作品は出版当時、私が驚いたように、うさこちゃん（ミッフィー）ファンを驚かせてしまったようです。

「衝撃の1冊」「しつけ本」「かわいい女の子のままでいてほしかった」…など、ブログ等に多くの書き込みがあったそうです。

作者のディック・ブルーナはこんなことを言っています。

「ネインチェ（うさこちゃん）は子どもたちに、とても近い存在だ。

子どもと同じように海に行ったり、動物園へ行ったりすることもあれば、いたずらをすることもある。

私は、子どもがしてしまうことを描きたかったんだ。どんなことでもね。

『うさこちゃんときゃらめる』では、ネインチェ（うさこちゃん）はいけないことをしてしまっ、とても悲しい気持ちになるけど、最後はもちろんハッピーエンドだよ。」

こんな授業があったら、楽しくもっと勉強できたなあ。英語もできるようになったかなあ。

教えている生徒のみなさんがうらやましい。

今日はここまでです（了）